



東京アマデウス合唱団

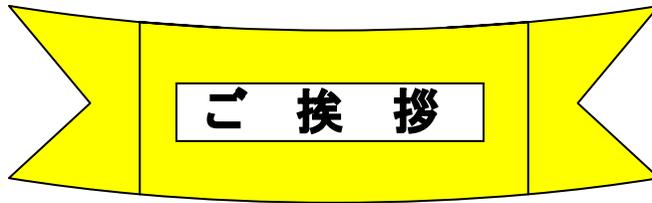
第35回定期演奏会

*Heinrich Schütz*  
*und*  
*Dieterich Buxtehude*

*Tokyo Amadeus Chorus*

同仁キリスト教会礼拝堂

2016年11月13日



本日はお忙しい中をご来場賜り、厚くお礼申し上げます。

今回は、当合唱団が毎回取り上げているドイツバロックの中で、シュッツとブクステフーデの作品から、そろそろ近くなってきたクリスマスに関連のある曲を中心に選び、演奏することと致しました。

お忙しい中をこの合唱団のためにご来場頂き、ご支援を下さる皆様方により、この演奏会を開催できることを大変有難く思っております。

ドイツバロックの名曲の響きを、皆様にお届けすることが出来れば幸いです。

東京アマデウス合唱団 団長 柿沼 ・

# PROGRAM

## Heinrich Schütz(1585~1672) (ア・カペラ)

Es ist erschienen die heilsame Gnade Gottes (SWV 371).....(SSATB)  
神の救いの恩寵が現れました

Herr,auf dich traue ich(SWV 377) .....(SSATB)  
主よ、私はあなたに信頼します

Ich bin eine rufende Stimme in der Wüsten(SWV 383) .....(SSATTB)  
私は荒野で叫ぶ声である

Ein Kind ist uns geboren(SWV 384).....(SSATTB)  
一人の子が我々に生まれ

Das Wort ward Fleisch (SWV 385).....(SSATTB)  
言葉は肉体となって

休 憩

## Dieterich Buxtehude(1637~1707)

(伴奏 Vn,Va,Vc,Cb,Org)

Du Friedefürst,Herr Jesu Christ(BuxWV 20) .....(SSATB)  
平和の君、主イエス・キリストよ

Herzlich lieb hab ich dich,o Herr(BuxWV 41) .....(SSATB)  
心からあなたを愛します、おお、主よ

(選曲 辻村順子)

# PROFILE

## 指揮 水野克彦



東京藝術大学卒業。  
ピアノを滝崎鎮代子、クラリネットを千葉国夫、室内楽を細野孝興の各氏に師事。オルガンの手ほどきを今井奈緒子氏に受ける。  
藝大バッハカンタータクラブに在籍中、小林道夫氏の薫陶を受ける。  
日本オルガニスト協会会員。

## Symphonia Fons Harmoniae

### ヴァイオリンⅠ 海保あけみ



東京藝術大学卒業。ヴァイオリンを正岡紘子、山岡耕筈、日高毅の各氏に、室内楽を黒沼俊夫氏に師事。  
又、藝大バッハカンタータクラブにて小林道夫氏の指導を受ける。  
現在フリーの演奏家として、室内楽・オーケストラ等の演奏を中心に活動中。

### ヴァイオリンⅡ 片桐恵里



東京藝術大学卒業。同大学院修了。埼玉県新人演奏会に出演。  
ヴァイオリンを掛谷洋三、浦川宜也、室内楽をピュイグ・ロジェ、ルイ・グレーラーの各氏に師事。室内楽を中心に活動している。

### ヴィオラⅠ 深沢美奈



第3回日本室内楽コンクール入選。1997年、東京藝術大学を経て同大学大学院を修了。中馬敬子、浦川宜也、河合訓子、菅沼準二の各氏に師事。  
オーケストラ リベラ クラシカのメンバー。  
モダン、バロックの様々なオーケストラにて活動中。

### ヴィオラⅡ 松井啓子



東京藝術大学卒業。同大学院修士課程修了。  
ヴィオラを浅妻文樹氏に、室内楽をルイ・グレーラー氏他に師事。  
東京シティフィルに在籍後、フリーの演奏家としてオーケストラ、室内楽を中心に活動中。

### チェロ

#### 伊藤恵以子



東京藝術大学卒業。同大学院博士課程修了。  
チェロを三木敬之、レーヌ・フラショー、倉田澄子の各氏に師事。  
パリ・エコールノルマルで学ぶ。第48回日本音楽コンクール入選。  
Ensemble Delice のメンバー。

### コントラバス 栗田涼子



東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院修士課程修了。  
コントラバスを、永島義男、黒木岩寿の各氏に師事。  
2007年、ミュージックマスターズコース in かずさに参加。  
バッハ協会管弦楽団の公演に出演するなど、フリーの演奏家として活動中。

## オルガン 平野智美



東京藝術大学卒業、同大学院音楽研究科修了。  
文化庁特別派遣芸術家在外研究員として、イギリスにて研鑽を積む。  
チェンバロを鈴木雅明、N・パール、オルガンは今井奈緒子の各氏に師事。  
第13回国際古楽コンクール<山梨>チェンバロ部門・最高位受賞。  
現在、国立音楽大学および千葉経済大学短期大学部講師。

# 解 説

水野克彦

これまで東京アマデウス合唱団はブクステフーデを何度か演奏会に取り上げており、その時々解説文を書いてきました。そこで今回、ブクステフーデの紹介については以前の解説文からの引用をお許しください。その代わりシュッツも含めて、各曲目の歌詞については何がしかの説明をしようと思います。

作曲家は歌詞に靈感を受けて作曲したのですから、歌詞を理解することは何よりも大切です。しかしこれらの歌詞が語っているキリスト教は、私たち日本人には今まで、いやこれからも縁遠い宗教かもしれません。ですから、乏しい能力の範囲ではありますが、歌詞の背景としてのキリスト教についても言及できたらと思っています。

なお文中、聖書の特に歴史的な説明においては、現代の学術的見地からは異論のある内容（例えば旧約聖書詩編やパウロ書簡の作者特定に関して）も含んでいます。しかしこの解説では敢えて伝統的な解釈を採用しました。シュッツもブクステフーデも伝統的なキリスト教を信じていたのですから。

## ハインリヒ・シュッツ

Heinrich Schütz=ハインリヒ・シュッツは1585年にドイツ中部テューリンゲン州 Bad Köstritz=バート・ケストリッツで生まれました。旅館を経営していた父親は、息子を音楽家にする考えなど更々無かったのですが、たまたま父親の旅館に宿泊した Landgraf Moritz von Hessen=ヘッセン方伯モーリッツがハインリヒの音楽的才能を見出して教育を受けさせるように取り計いました。シュッツ14歳の時です。さらにその後、モーリッツ伯の援助によって1607年からヴェネツィアに留学し、サン・マルコ大聖堂の高名なオルガニストである Giovanni Gabrieli=ジョヴァンニ・ガブリエーリに師事しました。当時のヴェネツィアは音楽の都として栄えており、シュッツはヨーロッパで最高の音楽修行ができたのです。そして1613年に実り多い留学を終えて帰国したシュッツは、2年後にドレスデンのザクセン選帝候宮廷楽長に就任し、1672年に亡くなるまでこの地位にありました。

当時のドイツにあつて最も重要なこの地位は、しかしシュッツにとって決して安楽な仕事ではありませんでした。ドイツ全土に惨禍をもたらした三十年戦争（1618-1648）に翻弄されたのです。戦いのための膨大な戦費を必要としたザクセン選帝候が楽団の予算をどんどん縮小したので、シュッツは困窮する楽団員の生活を助けるために奔走せねばなりません。ひとことで言えばシュッツは極めて劣悪な環境で音楽活動を強いられていたのです。

しかしそのような境遇にあっても彼にはささやかな喜びがありました。ドレスデンの隣町である一大商業都市ライプツィヒのトーマス教会カントルであった Johann Hermann Schein=ヨーハン・ヘルマン・シャインと、シャインが亡くなる 1630 年まで深い友情を結びあっていたのです。しばしばライプツィヒを訪れたシュッツは、シャインが指導するトーマス教会聖歌隊を高く評価していました。シャインが亡くなった後、1648 年にシュッツは彼を偲んでその功績を讃えるために「Geistliche Chormusik 1=教会合唱曲集 第1集」を出版してトーマス教会とライプツィヒ市に献呈しました。今日の演奏会で取り上げるシュッツの五つの作品はこの「教会合唱曲集 第1集」に収められています。シュッツは出版に際して曲集に序文を付しました。その中でドイツの若い音楽家たちを励まして、このようなことを書いています。

イタリアからもたらされた新しい作曲技法である通奏低音を使ったコンチェルト様式はドイツでも大変に好まれているが、若い音楽家はこの便利な技法に安易に頼ってはならない。そうではなくて前の時代の大切な作曲技法である対位法を大いに習得しなければならない。対位法を使ったモテット様式という、「堅いくるみ（つまりその中对位法の正しい核心と土台が見つかる）を噛み割って、彼らの最初の試みを果た」さなければならない。私はドイツの若い音楽家への手本としてこの曲集を出版する。（大意要約）

序文で言われているように、この全集に収められている全 29 曲は通奏低音の技法ではなく、対位法による古い様式で作られています。では次に個々の曲の歌詞をご紹介します。なお曲ごとに付けられた SWV は Schütz-Werke-Verzeichnis（シュッツ作品目録）の略語です。

### Es ist erschienen die heilsame Gnade Gottes (SWV371) 神の救いの恩寵が現れました (SWV371)

Es ist erschienen die heilsame Gnade Gottes  
allen Menschen und züchtigt uns,  
daß wir sollen verleugnen das ungöttliche Wesen  
und die weltlichen Lüste  
und züchtig, gerecht und gottselig  
leben in dieser Welt  
und warten auf die selige Hoffnung  
und Erscheinung der Herrlichkeit des großen Gottes  
und unsers Heilands Jesu Christi,  
der sich selbst für uns gegeben hat,

神の救いの恩寵が現れました、  
全ての人々にです。そして私達を戒めます。  
私達は、不信心な営みと  
世俗的な欲望を退けて  
慎み深く正しく敬虔に  
この世を生きるべきであり、  
待つべきは、浄福な希望と  
偉大な神の栄光の出現、  
私達の救い主であるイエス・キリストの  
栄光の出現であると。  
イエス・キリストが自ら私達のために  
身を委ねられたのは、

auf daß er uns erlösete von aller Ungerechtigkeit  
und reiniget ihm selbst ein Volk zum Eigentum,  
das fleißig wäre zu guten Werken.

私達を全ての不正から救い出して  
御自分の所有となった民を清め、  
善行に励む民とするためであると。

(新約聖書テトスへの手紙2章11-14節)

テトスへの手紙は新約聖書に収められているパウロの書簡の一つです。パウロはキリスト教の基礎を作った最も重要な人物です。彼は熱心なユダヤ教徒で、キリスト教徒を迫害する日々を送っていましたが、ある時、十字架の死から復活されたイエスに出会い、回心してキリスト教徒となりました。そして各地にイエスの福音を伝道してローマまで達し、皇帝ネロのとき 60 年代後半に殉教したと伝えられています。

新約聖書にはパウロが弟子や各地の教会へ送った 13 の書簡が収録されています。テトスはパウロの助手として一緒に伝道をした同労者でした。この手紙はクレタ島の教会を組織する役割を与えられたテトスを励ますためにパウロが送ったものとされています。この世の生活に染まるのではなく、信仰者としてふさわしい生活を送るように諭し、この世の終わりにキリストが再び来て全てを支配される希望に生きなさいと勧めています。苦労の連続であったシュツツもこの歌詞にきっと励まされたことでしょう。

**Herr, auf dich traue ich (SWV377)**

**主よ、私はあなたに信頼します (SWV377)**

Herr, auf dich traue ich,  
laß mich nimmermehr zu Schanden werden.  
Errette mich nach deiner Barmherzigkeit,  
und hilf mir aus.  
Neige deine Ohren zu mir,  
und hilf mir.  
Sei mir ein starker Hort,  
ein Hort, dahin ich immer fliehen möge,  
der du hast zugesaget, mir zu helfen.

主よ、私はあなたに信頼します。  
もう決して私が恥に晒されないようにしてください。  
私をあなたの御慈悲へと救い、  
私を助けてください。  
あなたの両耳を私へ傾けて、  
私を助けてください。  
強固な避け所が私にありますように。  
私がいつも逃れようとするその避け所は、  
あなたが約束してくださった私の救いです。

(旧約聖書詩編 71 1-3 節)

キリスト教の聖書は旧約聖書と新約聖書の 2 部から成っています。しかし旧約聖書と呼ばれる書物はそもそもがユダヤ教の経典でした。キリスト教は歴史上ユダヤ教と繋がっているのです。「旧約」とは神との「旧い契約」という意味で、ユダヤ人の祖アブラハムと神との間に交わされた平和の契約のことです。

旧約聖書には神を賛美する 150 の詩から成る「詩編」という書物が収められています。そして、この曲の歌詞が採られた詩編 71 はダヴィデ王が晩年になって作ったと言われています。ユダヤの民は紀元前 1000 年頃にダヴィデ王が出てイスラエル王国の最盛期を迎えました。ですからユダヤ人にとってダヴィデ王は最も偉大な王なのです。詩編 71 は老齢になったダヴィデ王が息子アブシャロムの謀反にあった時に神の助けを祈って歌った詩だと言われています。シュツツがこの曲集を出版したとき 63 歳。当時としては老齢の域に達していた彼は、人生で味わってきた様々な困難を省みながらこの詩に共感したことでしょう。

### Ich bin eine rufende Stimme in der Wüsten (SWV 383) 私は荒野で叫ぶ声である (SWV 383)

Ich bin eine rufende Stimme in der Wüsten: 私は荒野で叫ぶ声である。

Richtet den Weg des Herren.

「主の道を整えよ」と。

(新約聖書ヨハネによる福音書 1 章 23 節)

Ich taufe mit Wasser;

私は水でバプテスマを授ける。

aber er ist mitten unter euch getreten,  
den ihr nicht kennt.

しかしお前達の只中に歩いてこられるお方は、  
お前達が知らないお方である。

Der ist' s, der nach mir kommen wird,  
welcher vor mir gewesen ist,

私の後に来られるであろうそのお方、

des ich nicht wert bin,

そのお方は私より以前から存在しておられ、

daß ich seine Schuhriemen auflöse.

無価値な私は

そのお方の靴紐を解く資格もないのである。

(新約聖書ヨハネによる福音書 1 章 26-27 節)

先に旧約聖書にふれましたが、新約聖書の「新約」とは「新しい契約」、つまりイエス・キリストの十字架の死と復活をとおしてイエスの福音を信じる者と神との間に交わされた「新しい契約」という意味です。新約聖書には先に紹介したパウロの書簡などの他に、マタイによる福音書、マルコによる福音書、ルカによる福音書、ヨハネによる福音書が収められています。福音書はイエスの教え（福音）と生涯を記録した言行録です。

この歌詞は、ヨハネによる福音書から取られており、イエスがまだ伝道が始める前にバプテスマのヨハネという人物（ちなみに福音書の題名になっているヨハネとは別人物です。ややこしいですが）が現れて、やがて到来されるイエスを迎える準備をせよと人々に呼びかける場面です。バプテスマとは洗礼のことで、もともとは全身を水に沈めて清める儀式でした。バプテスマのヨハネは後にユダヤの領主ヘロデによって首をはねられます。この事件を題材にオスカー・ワイルドが戯曲「サロメ」を書き、リヒャルト・シュトラウスがオペラ「サロメ」を作曲しています。

Ein Kind ist uns geboren (SWV 384)

一人の子が我々に生まれ (SWV 384)

Ein Kind ist uns geboren,  
ein Sohn ist uns gegeben.  
Welches Herrschaft ist auf seiner Schulter,  
und er heißt Wunderbar, Rat, Kraft,  
Held, ewig Vater, Friedefürst,  
auf daß seine Herrschaft groß werde  
und des Friedens kein Ende  
auf dem Stuhle David  
und seinem Königreiche,  
daß ers zurichte und stärke  
mit Gericht und Gerechtigkeit  
von nun an bis in Ewigkeit,  
solches wird tun  
der Eifer des Herren Zebaoth.

一人の子が我々に生まれ、  
一人の息子が我々に与えられている。  
彼の統治権はその肩にあり、  
驚嘆すべき人、助言者、力ある者、  
勇士、永遠の父、平和の領主と呼ばれる。  
なぜなら彼の支配と  
終わりのない平和が、  
ダヴィデの王座と  
その王国の上に広く及ぶからだ。  
彼がその王国を整え強めるのは、  
審判と正義をもってである。  
今より後、永遠に。  
そのように成し遂げるのは  
万軍の主の熱意である。

(旧約聖書イザヤ書9章5-6節)

この歌詞の出典は再び旧約聖書です。イスラエル王国の繁栄を築いたダヴィデ王から 300 年ほど時代が下った紀元前 700 年の頃のことです。イスラエル王国は二つの王国に分裂してしまい、一方の北イスラエル王国は強国アッシリア帝国によって滅ぼされ、他方残ったユダ王国もアッシリアの前に風前の灯といった状況でした。ユダヤ民族のそのような危機の中にあつて、預言者イザヤは神から召命を受けて活動を始めたのです。

ここで「預言」という語について注意しておきます。預言と予言は異なります。「予言」は未来の出来事をあらかじめ言い当てることですが、「預言」は神の意思を預かって人に伝えることです。キリスト教徒は、この歌詞がイエスの誕生を預言していると信じています。その理由を説明しましょう。

前述のような危機的状況にあったユダヤ人は、ダヴィデ王のような偉大な王が再び現れて国を再建してくれるように願っていました。ユダヤの王（祭司）は王位に就く際に油を塗られるしきたりでした。油塗られて王となった者をヘブライ語で「メシア」と言い、ギリシャ語では「クリストス（キリスト）」と言います。つまりユダヤ人にとっての救世主です。彼等は、救世主はダヴィデの家系から生まれると信じていました。

さて、イザヤの時代から更に 700 年経ってガリラヤの村ナザレに一人の男の子が生まれました。

イエスです。この頃のユダヤはイザヤの時代よりももっと悪い状況下にありました。ローマ帝国の属国にされてしまっていたのです。そこでイエスの教えを聞いた人々は、この人こそイザヤが預言したメシアだと期待しました。彼らはイエスを国家再興のリーダーと仰ぎたかったのです。しかしイエスは彼らが期待していたようなメシア像を提供しなかったため、いやユダヤ人どころか全人類の救いを説いたので、期待を裏切られて激昂した民衆はイエスを十字架へと追いやってしまいました。しかしイエスの教えを福音として真に受け入れた人々は、イザヤ書のこの箇所を救世主イエス誕生の預言と信じたのです。このようにキリスト教は、旧約聖書の預言がイエス・キリストによって成就したと信じます。

これが、キリスト教の聖典である聖書が旧約と新約の二つの書で構成されているゆえんです。

ところでヘンデルのメサイアを歌ったり聞くのが好きだったりする人は、この歌詞と同じ合唱曲がメサイアにあるのを思い出しましたか？

#### Das Wort ward Fleisch (SWV 385)

Das Wort ward Fleisch  
und wohnt unter uns,  
und wir sahen seine Herrlichkeit,  
eine Herrlichkeit  
als des eingebornen Sohns vom Vater,  
voller Gnade und Wahrheit.

#### 言葉は肉体となって (SWV 385)

言葉は肉体となって  
私達のところに住まわれた。  
そして私達は彼の栄光を見た。  
その栄光は  
御父の独り子としての、  
溢れるばかりの恩寵と真理としての栄光である。

(新約聖書ヨハネによる福音書 1 章 14 節)

この歌詞はヨハネによる福音書第 1 章から取られています。「言葉」は神の意思、「肉体となって」はイエスが神の意思の体現としてこの世に生まれたことを意味しています。そしてイエスは父なる神の唯一の独り子であり、神の恩寵と真理そのものであると続きます。これはつまり福音書の冒頭でイエスを紹介しているのです。

ユダヤ人の民族宗教に過ぎなかったアブラハムの一神教は、イエスによって世界の人類が共有できる普遍的な宗教へとパラダイムの一大転換を果たしました。イエスの教えには価値観の大胆な転換があります。その好例として、マタイによる福音書に収録されているイエスの説教「山上の垂訓」より 5 章 3-12 節を掲載しておきましょう。どうぞ味わってみてください。

「心の貧しい人々は、幸いである、／天の国はその人たちのものである。  
悲しむ人々は、幸いである、／その人たちは慰められる。

柔和な人々は、幸いである、／その人たちは地を受け継ぐ。  
義に飢え渴く人々は、幸いである、／その人たちは満たされる。  
憐れみ深い人々は、幸いである、／その人たちは憐れみを受ける。  
心の清い人々は、幸いである、／その人たちは神を見る。  
平和を実現する人々は、幸いである、／その人たちは神の子と呼ばれる。  
義のために迫害される人々は、幸いである、／天の国はその人たちのものである。  
わたしのためにののしられ、迫害され、身に覚えのないことであらゆる悪口を浴びせられるとき、  
あなたがたは幸いである。  
喜びなさい。大いに喜びなさい。天には大きな報いがある。あなたがたより前の預言者たちも、  
同じように迫害されたのである。」

## ディーテリヒ・ブクステフーデ

Dieterich Buxtehude =ディーテリヒ・ブクステフーデは随分と昔の時代の人で、彼の生歿年は1637年頃-1707年だそうです。彼の時代をすぐに想像することができますか。ドイツではカトリックとプロテスタントが30年戦争を繰り広げ、イタリアではガリレオ・ガリレイが「地球は太陽の周りを廻っている」と言い張ったものだから1633年に宗教裁判を受ける羽目に陥っていました。そして日本ではブクステフーデが誕生したと推定される年に島原の乱がおき、前後して徳川幕府による鎖国が完成しました。その後、元禄文化に華やぐ江戸を1703年に元禄地震が襲い、1707年には宝永地震および富士山の宝永大噴火がおこって徳川幕府が大打撃を被ったこの年にブクステフーデは死去しました。因みに赤穂浪士が吉良邸に討ち入りを敢行したのが1702年です。こうして日本の歴史と照らし合わせて調べているとけっこう面白いので、バッハ誕生の1685年をみてみたら、この年に犬公方といわれた將軍綱吉が生類憐みの令を出していました。さて、これくらいにしておきましょうか。こうして調子に乗ってあちこちに飛び続けていると、だんだんと日本史になってきてしまうのでブクステフーデに戻ります。

北ドイツにブクステフーデという都市があります。そこがブクステフーデー族の出身地だそうです。昔は住んでいる土地の名で人を呼ぶことがありました。「レオナルド・ダヴィンチ=ヴィンチ村のレオナルド」のように。しかし我がブクステフーデの生まれ育った場所はブクステフーデ市ではなく、当時のデンマーク領、現在はスウェーデンのヘルシンボリでした。父が、この地でオルガニストをしていたからです。子供の頃については、まるで資料が残っていないので想像をするしかないのですが、父親に音楽を師事しつつラテン語学校で教育を受けたのでしょう。やがて一人前の音楽家となった彼は、1668年にハンザ同盟の大都市リューベックの聖マリア教会オルガニストに就任します。3段鍵盤54ストップの大オルガンで有名だったこの教会の地位は、北ドイツで最も重要とされていました。つまり

彼は 31 歳で押しも押されもせぬ当代一のオルガニストとなったのでした。そして彼は生涯この地位にとどまり、北ドイツ・オルガン楽派の巨匠として活躍しました。また「夕べの音楽」と称する音楽会を毎年 12 月頃に催して、リュューベック市民の音楽生活に貢献したことも大きな業績でしょう。若きバッハはブクステフーデに会うために職場のアルンシュタット市からリュューベック市まで 400 キロもの道程を徒歩旅行したといえます。そして「夕べの音楽」を聴きたいがために、有ろう事か無断で休暇を延長してしまい、アルンシュタット市の聖職会議に叱責されたという話は有名です。

ブクステフーデのこのような経歴から、彼のオルガン音楽は今日まで高い評価を受けてきました。けれども彼の作品は器楽曲、声楽曲にも及んでいます。特に宗教曲は今に伝わる曲だけで 114 を数え、失われてしまった曲も勘定に入ればもっと多くの作品があったはずです。

(2012 年定期演奏会解説文より)

なお BuxWV は Buxtehude -Werke-Verzeichnis (ブクステフーデ作品目録) の略語です。

## Du Friedefürst, Herr Jesu Christ (BuxWV 20) 平和の君、主イエス・キリストよ (BuxWV 20)

### 第 1 節

Du Friedefürst, Herr Jesu Christ,  
wahr' Mensch und wahrer Gott,  
ein starker Nothelfer du bist  
im Leben und im Tod.  
Drum wir allein im Namen dein  
zu deinem Vater schreien.

平和の君、主イエス・キリストよ、  
まことの人にしてまことの神、  
あなたは苦境から救ってくださる強い救護者です、  
この世にあっても死の時にも。  
それゆえ私達はあなたの御名前によって  
あなたの御父に呼びわります。

### 第 2 節

Recht große Not uns stößet an  
von Krieg und Ungemach,  
daraus uns niemand helfen kann  
denn du; drum führ die Sach.  
Den Vater bitt, dass er ja nit  
im Zorn mit uns verfare.

本当に大きな苦境が私達を襲います、  
戦争と災いです。  
この苦境から誰も私達を救うことはできません。  
さあ、イエス様、この状態から導き出してください  
御父にお願いしてください、御父が絶対に  
怒りを私達にお向けにならないように。

### 第 3 節

Gedenke, Herr, jetzt an dein Amt,  
dass du ein Friedfürst bist,  
und hilf uns gnädig allesamt

思い出してください、主よ、今こそあなたの御務めを、  
あなたが平和の君だということを。  
そして私達を深い御慈悲をもって皆一緒に助けくださ  
い、

jetzt und zu aller Frist.

今もまた全ての時にも。

Lass uns hinfort dein göttlich Wort

私達に、神であるあなたの御言葉を今から後も

im Fried noch länger schallen.

平和のうちに長く響かせてください。

Amen.

アーメン。

この曲は、コラール「Du Friedefürst, Herr Jesu Christ」の全部で7節ある歌詞から最初の3節を使って作曲されたもので、前奏の後にコラールが間奏部分を挟みながら、変奏なしのほぼ原形どおりに3節通して歌われていきます。第3節の後半から三拍子に変わり、躍動感を増しながら終結へと向かいます。

歌詞は、1579年から1614年までフランクフルト・オーダー大学のヘブライ語教授を勤めた Jakob Ebert = ヤーコブ・エーバート (1549-1614) という人の作です。また旋律は、1593年から1613年までフランクフルト・オーダーのマリア教会カントルだった Bartholomäus Gesius = バートロメウス・ゲジウス (1560-1613) という人の作曲だと言われています。このコラールは神聖ローマ帝国内のドイツ国民に広く歌われたそうです。ブクステフーデがどのようなきっかけでこの作品を作曲したかは分かっていません。

さて、ここでコラールについて説明しておきましょう。コラールとは、宗教改革者マルティン・ルターが教会の礼拝で使用するために定めた讃美歌のことです。それまでカトリック教会ではラテン語でミサが執り行われていましたが、ルターは母国語のドイツ語を用いるべきだと考えました。そして聖職者だけで歌われていた聖歌を民衆にも歌わせたいと思いました。そこでドイツ語の詩に歌い易い旋律をつけたり、グレゴリオ聖歌の歌詞をドイツ語に訳して旋律も単純化することによって新しい讃美歌に仕立て直したりして、多くのコラールが作られました。ルター自身もいくつかのコラールを作曲しています。こうして生まれたコラールは、後世の作曲家たちにとって創作のための格好の材料、靈感の源となりました。バッハが自分の宗教作品に多くのコラールを使用していることが思い出せますね。

今、私の手元にはドイツのルター派プロテスタント教会で現在使われている1996年出版の福音讃美歌集 (Evangelisches Gesangbuch) があります。この中にはおよそ5~600曲程のコラールが収められおり、ブクステフーデが使用した「Du Friedefürst, Herr Jesu Christ」は<信仰、愛、希望>という大見出しの中の<天地創造の存続のため、平和と正義のために>という項目に分類されています。

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr (BuxWV 41)心からあなたを愛します、おお、主よ (BuxWV 41)

第1節

Herzlich lieb hab ich dich, o Herr,  
ich bitt, wollst sein von mir nicht fern  
mit deiner Hülff und Gnade.

Die ganz Welt nicht erfreuet mich,  
nach Himmel und Erd frag ich nicht,  
wenn ich dich nur, Herr, habe.

Und wenn mir gleich mein Herz zerbricht,  
so bist du doch mein Zuversicht,  
mein Heil und meines Herzens Trost,  
der mich durch sein Blut hat erlöst.

Herr Jesu Christ, mein Gott und Herr,  
mein Gott und Herr,  
in Schanden lass mich nimmermehr!

心からあなたを愛します、おお、主よ、  
私は願います、あなたが私から遠く離れずに、  
助けと恩寵をくださるようにと。

全世界をも私を喜ばせないし、  
天も地も私は気にかけません。

私があなただのみを、主よ、所有するならば、  
たとえ私の心が撃ち砕かれようとも、  
それでもあなたは私の期待であり、  
私の救い、私の心の慰めです。  
あなたは、その血潮によって私を救済してくださいまし  
た。

主イエス・キリストよ、私の神にして主よ、  
私の神にして主よ、  
もう決して私を辱められるままにしておかないでくださ  
い。

第2節

Es ist ja, Herr, dein Geschenk und Gab,  
mein Leib und Seel und was ich hab  
in diesem armen Leben,

damit ich' s brauch zum Lobe dein,  
zu Nutz und Dienst des Nächsten mein,  
wollst mir dein Gnade geben.

Behüt mich, Herr, für falscher Lehr,  
des Satans Mord und Lügen wehr,  
in allem Kreuz erhalte mich,  
auf dass ich' s trag gedültiglich.

Herr Jesu Christ, mein Herr und Gott,  
mein Herr und Gott,  
tröst mir mein Seel in Todesnot!

そうです、主よ、あなたからの賜物、  
私の身体と魂、そして私が  
この貧しい人生で所有するもの、  
それらを私があなただを讃美するために必要とし、  
我が隣人に役立つ奉仕をするために必要とするので、  
あなたは私に恩寵として与えてくださるでしょう。

私をお守りください、主よ、偽りの教えから、  
悪魔の殺戮と虚偽を防ぎ、  
あらゆる苦難の際に私を支えてください。  
私が苦難を忍耐するためです。

主イエス・キリストよ、私の主にして神よ、  
私の主にして神よ、  
死の苦しみにあっても私の魂を慰めてください。

### 第3節

Ach Herr, lass dein lieb' Engelein  
am letzten End mein Seelelein  
in Abrahams Schluß tragen,  
den Leib in seinm Schlafkämmerlein  
gar sanft ohn einig Qual und Pein  
ruhn bis an jüngsten Tage.  
Alsdann vom Tod erwecke mich,  
dass meine Augen sehen dich  
in aller Freud, o Gottes Sohn,  
mein Heiland und mein Gnadenthron,  
Herr Jesu Christ, erhöre mich,  
erhöre mich.  
Ich will dich preisen ewiglich.  
Amen.

ああ主よ、あなたの愛する天使に  
臨終にある私の魂を  
アブラハムの懐へ運ばせ、  
その寝室で身体を  
まったく穏やかに少しの苦痛や苦悩もなく、  
最後の審判の日まで憩わせてください。  
それから私を死より目覚ませてください、  
私の両目があなたを  
全き喜びのうちに見るために、おお、神のひとり子よ、  
私の救い主にして恵みの座よ。  
主イエス・キリストよ、私の願いを聞き届けてください、  
聞き届けてください。  
私はあなたをとこしえに讃美しましょう。  
アーメン。

この曲はコラール「Herzlich lieb hab ich dich, o Herr」によって作曲されており、やはり前曲の BuxWV 20 同様に3節通しで歌われます。しかし曲の作りは異なっていて、音楽が歌詞の文言に合わせて細やかに、表情豊かに変化していく趣向をとっています。

作詞者は Martin Schalling=マルティン・シャリング (1532-1608) という牧師です。旋律の作者は分かっていません。手元にある福音讃美歌集では<信仰、愛、希望>という大見出しの中の<神の愛に保護されて>という項目に分類されています。

ところで、このコラールで思い出すのはバッハのヨハネ受難曲です。バッハはコラールの第3節に感動的な和声をつけてヨハネ受難曲の終曲とすることによって、この悲劇的な受難曲を信仰と希望へ導きました。

## 演奏会の記録

	開催年月	主な演奏曲目	指揮	会場
第1回	1981.02	モーツァルト(レクイエム<ジュスマイヤー版>)	寺村博司	石橋メモリアル
第2回	1981.11	ヘンデル(メサイア)	渡辺央己	中央会館
第3回	1982.11	フォーレ(レクイエム)、ジョスカン・デ・プレ、シュッツ	鈴木 優	東京カテドラル
第4回	1983.09	モーツァルト (戴冠式ミサ)、ヴィクトリア	黒岩英臣	東京カテドラル
第5回	1984.09	モーツァルト(レクイエム<ジュスマイヤー版>)	黒岩英臣	東京カテドラル
第6回	1985.10	J.S.バッハ(カンタータ106)、ブクステフーデ、ハスラー	宮本昭嘉	石橋メモリアル
第7回	1986.10	モーツァルト(グローセミサ)、ヴィクトリア	鈴木 優	練馬文化センター
第8回	1987.10	シュッツ(ムジカリッシェ・エクゼクイエン)、ハスラー(ミサ・セクンダ)	鈴木 優	石橋メモリアル
第9回	1988.12	モーツァルト(ヴェスペレ 339)、J.ハイドン	齋藤明生	駒場エミナース
第10回	1989.11	モーツァルト(レクイエム<バイヤー版>)	齋藤明生	練馬文化センター
創刊誌会	1990.05	ジョスカン・デ・プレ(パンジェ・リングワ)、ハスラー	齋藤明生	石橋メモリアル
第11回	1991.02	モーツァルト(リタニア 243)、J.M.ハイドン(ヴェスペレ)	齋藤明生	石橋メモリアル
第12回	1991.11	モーツァルト(ドミニクス・ミサ、サンクタ・マリア・マーテル・デイ)	齋藤明生	川口ロリアホール
第13回	1992.11	シャルバンティエ(真神の歌)、シュッツ、ブクステフーデ	齋藤明生	石橋メモリアル
第14回	1993.11	モーツァルト(ミサ・プレヴィス276)、アルブレヒツベルガー	齋藤明生	石橋メモリアル
15周年記念	1994.11	モーツァルト(レクイエム<ドルース版>)渋谷混声と合同	齋藤明生	新宿文化センター
第15回	1995.10	J.S.バッハ(カンタータ 182)、ブクステフーデ	齋藤明生	石橋メモリアル
第16回	1996.11	モーツァルト(ヴェスペレ 339)、アルブレヒツベルガー	齋藤明生	石橋メモリアル
第17回	1997.10	モーツァルト(ミサ・ソレムニス 337、テデウム・ラウドムス)	齋藤明生	石橋メモリアル
第18回	1998.10	J.S.バッハ(カンタータ 61・196)、D.スカルラッチェ	齋藤明生	石橋メモリアル
第19回	1999.10	ラインベルガー(スタバト・マーテル)、J.M.ハイドン、ブルックナー	齋藤明生	石橋メモリアル
継続性華	2000.07	ハスラー、メンデルスゾーン、ホミリウス	水野克彦	同にキリスト教会
クリスマス	2000.12	四つのアヴェマリア(カルヴィジウス、シャイン、T.ミヒャエル、J.S.バッハ)	水野克彦	旧上野奏楽堂
第20回	2001.11	モーツァルト(トリニターティス・ミサ)、J. ハイドン	水野克彦	石橋メモリアル
第21回	2002.10	ドイツ・バロック(J.C.F.バッハ、シュッツ、ブクステフーデ)	水野克彦	所沢文化センター
第22回	2003.11	ラインベルガー(スタバト・マーテル)、アルブレヒツベルガー	水野克彦	ルテル館センター
第23回	2004.10	D.スカルラッチェ、パレストリーナ、モンテヴェルディ	水野克彦	カトリック麻生
第24回	2005.11	シュッツ、テレマン、ブクステフーデ(カンタータ)	水野克彦	カトリック麻生
第25回	2006.11	レヒナー(ヨハネ受難曲)、ゼレンカ(レスポンソリア)	水野克彦	カトリック麻生
第26回	2007.10	ブクステフーデ(カンタータ 6曲)	水野克彦	カトリック麻生
第27回	2008.11	5人のヨーハン(J.S.バッハとその親戚4人)	水野克彦	カトリック麻生
第28回	2009.10	メンデルスゾーン、J.ハイドン(レスポンソリア)	水野克彦	カトリック麻生
第29回	2010.11	シュッツ、シャイン、シャイト、ブクステフーデ、ブルース	水野克彦	同にキリスト教会
第30回	2011.10	歴代「トーマス・カントル」のバッハ以外の名曲集	水野克彦	日暮里サニーホール
第31回	2012.10	シュッツ、ブクステフーデ(メンブラ・イエズ・ノストリ)	水野克彦	同にキリスト教会
第32回	2013.12	16~17世紀のクリスマスと新年の名曲	水野克彦	同にキリスト教会
第33回	2014.11	シュッツ(ムジカリッシェ・エクゼクイエンほか)	水野克彦	同にキリスト教会
第34回	2015.11	トーマスカントル(カルヴィジウス、シャイン、T.ミヒャエル、J.S.バッハ)	水野克彦	同にキリスト教会
第35回	2016.11	シュッツ、ブクステフーデ	水野克彦	同にキリスト教会
第36回	2017.10	ドイツバロック(ローゼンミュラー・パッヘルベル・ブルース等)	水野克彦	同にキリスト教会

## 東京アマデウス合唱団のご案内 (2016.11 現在)

少人数に適したルネッサンスやバロック時代の宗教曲を積極的に取上げて、他の合唱団ではあまり歌うことの無い、隠れた名曲を歌っています。今後の活動予定は下記の通りですが、少人数のバロックのアンサンブルと一緒に楽しみたい方や興味のある方は、下記をご参照下さい。

(事務局 大久保ルミ子)

### 来年の演奏会「第 36 回定期演奏会」

「日 時」 2017 年 10 月 8 日(日)  
「会 場」 同仁キリスト教会礼拝堂  
「演奏曲目」 ドイツバロック(ローゼンミュラー・パッヘルベル・ブルーンス等)

<http://t-amadeus.music.cocacn.jp>

見学ご希望の方へ(必ず、上記へメール又は下記へ電話でご連絡の上、お出で下さい)

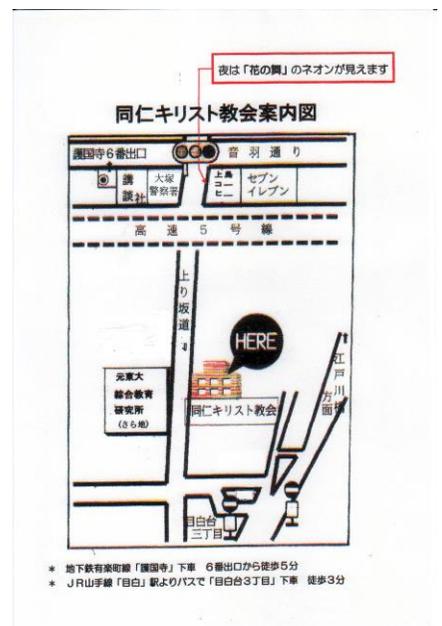
お問い合わせ先 辻村 順子 048-476-4056  
大久保ルミ子 03-3960-7714

練習日 毎週水曜日 午後 6 時半～9 時  
練習場所 同仁キリスト教会美登里幼稚園 2F  
指導者 水野克彦  
会 費 月 額 5 千円(学生半額)  
入会金 1 千円

この他に、楽譜代・定演参加費(例年 4 万円程度)がかかります(家族割り・学割あり)

(練習場所への交通案内)右図参照

- \* 地下鉄有楽町線  
「護国寺」駅下車 6 番出口から徒歩 5 分
- \* JR 山手線「目白」駅よりバスで  
「目白台 3 丁目」下車 徒歩 3 分



## 東京アマデウス合唱団

ソプラノⅠ 辻村順子・中西亜紀子  
ソプラノⅡ 名阪雅美・平石幸枝  
アルト 大久保ルミ子・大友美佐  
大庭裕子・堀江和子  
テノール 翁長良二・大庭敏彦・小沢 仁  
(テノールⅠ 大庭敏彦・小沢 仁)  
(テノールⅡ 翁長良二・柿沼 ．)  
バス 柿沼 ．・椎野隆志  
中西宏年・山村道男



同仁キリスト教会礼拝堂(2015.11.03)



Heinrich  
Schütz

1585～  
1672



Dieterich  
Buxtehude

1637～  
1707



JOHANNES VOORHOUT: HÄUSLICHE MUSIKSZENE - DOMESTIC MUSIC-MAKING

上記の画は、1674年に歴史画家ヨハネス・フォールハウトが描いた「家庭音楽のひとこま」という画で、従来は、「前面右の歌手が Buxtehude、チェンバロを弾いているのは作曲家でハンブルグの聖カタリナ教会オルガニストのヨーハン・アーダム・ラインケン、ガンバ奏者は、シュッツの弟子のヨーハン・タイレ、タイレの後ろで羽根つきの帽子をかぶっているのはこの画を描いた画家ヨハネス・フォールト、リュートを演奏する女性は不明」と推測されてきました。

しかし、2008年にヨーハン・タイレの肖像画が発見され、ガンバ奏者が本当の Buxtehude で、従来 Buxtehude とされていた、楽譜を持つ男がヨーハン・タイレであろうと、画像の推定解釈が変更されております。



ブクステフーデが活躍していた  
リューベックの聖マリア教会

*Tokyo Amadeus Chorus*

*Since 1980*